

特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告（特許協力条約第二章）

（法第12条、法施行規則第56条）
〔PCT36条及びPCT規則70〕

REC'D 28 OCT 2005

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 P33874-P0	今後の手続きについては、様式PCT/IPEA/416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2004/006704	国際出願日 (日.月.年) 12.05.2004	優先日 (日.月.年) 21.08.2003
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. ⁷ G06F12/00, 17/30, G10L19/00, G11B20/10, 27/00, 27/031		
出願人 (氏名又は名称) 松下電器産業株式会社		

- この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第57条（PCT36条）の規定に従い送付する。
- この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- この報告には次の附属物件も添付されている。
 - ☒ 附属書類は全部で 15 ページである。
 - ☒ 補正されて、この報告の基礎とされた及び／又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び／又は図面の用紙（PCT規則70.16及び実施細則第607号参照）
 - ☐ 第I欄4.及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
 - ☐ 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。
配列表に関する補充欄に示すように、電子形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。
(実施細則第802号参照)
- この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
 - ☒ 第I欄 国際予備審査報告の基礎
 - ☐ 第II欄 優先権
 - ☐ 第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
 - ☐ 第IV欄 発明の単一性の欠如
 - ☒ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
 - ☐ 第VI欄 ある種の引用文献
 - ☐ 第VII欄 国際出願の不備
 - ☐ 第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 11.08.2004	国際予備審査報告を作成した日 13.10.2005	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 平井 誠	55 9071
	電話番号 03-3581-1101 内線 3546	

様式PCT/IPEA/409 (表紙) (2005年4月)

第I欄 報告の基礎

1. 言語に関し、この予備審査報告は以下のものを基礎とした。

- ☒ 出願時の言語による国際出願
☐ 出願時の言語から次の目的のための言語である _____ 語に翻訳された、この国際出願の翻訳文
☐ 国際調査 (PCT規則12.3(a)及び23.1(b))
☐ 国際公開 (PCT規則12.4(a))
☐ 国際予備審査 (PCT規則55.2(a)又は55.3(a))

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☐ 出願時の国際出願書類

☒ 明細書

第 1, 7-18, 21-32, 34-45 _____ ページ、出願時に提出されたもの
 第 2-6, 19-20, 33 _____ ページ*, 11. 08. 2004 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 請求の範囲

第 10, 12 _____ 項、出願時に提出されたもの
 第 _____ 項*, PCT 19条の規定に基づき補正されたもの
 第 1, 4, 9, 11, 13-18 _____ 項*, 11. 08. 2004 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ 項*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☒ 図面

第 1-19 _____ ページ/図、出願時に提出されたもの
 第 _____ ページ/図*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの
 第 _____ ページ/図*, _____ 付けで国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☒ 補正により、下記の書類が削除された。

☐ 明細書 第 _____ ページ
☒ 請求の範囲 第 2-3, 5-8 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を超えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則 70.2(c))

☐ 明細書 第 _____ ページ
☐ 請求の範囲 第 _____ 項
☐ 図面 第 _____ ページ/図
☐ 配列表 (具体的に記載すること) _____
☐ 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) _____

* 4. に該当する場合、その用紙に "superseded" と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲 1, 4, 9-18	有
	請求の範囲	無
進歩性 (IS)	請求の範囲 1, 4, 9-18	有
	請求の範囲	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲 1, 4, 9-18	有
	請求の範囲	無

2. 文献及び説明 (PCT規則 70.7)

文献

文献1: JP 2002-244906 A (株式会社情報数理研究所) 2002. 08. 30, 段落【0033】-【0034】、【0073】-【0075】、第2図 (ファミリーなし)

文献2: JP 11-316705 A (松下電器産業株式会社) 1999. 11. 16, 【請求項1】&US 6339786 B1 &EP 0940984 A2

説明

請求の範囲 1, 4, 9-18

請求の範囲 1, 4, 9-18に係る発明は、国際調査報告で引用された文献に対して進歩性を有する。文献1-2には第1記憶手段、抽出手段、削除決定手段からなる構成が記載されておらず、また、当該構成は当業者が容易に想到し得ないものである。

29065号公報参照。))。

しかしながら、上記特許文献1のファイル同期システムでは通信状態が安定したインターネット環境を想定しており、車などのような通信状態が不安定な環境での効率よいファイル同期については記載されていない。

5 い。

また、一般のファイル同期では、双方のマシンのファイルの内容を全く同じ状態にすることが想定されている。このようなファイル同期を、車載用記録再生装置と家庭用記録再生装置との間に適用しようとしても、例えば車で聴く音楽は、家庭で聴く音楽とはジャンルが異なるというユーザも少なくないことから、ユーザの求めるオーディオデータの複製を行うことができない場合が多い。

発明の開示

そこで、本発明は上記の事情に鑑みてなされたものであり、2台の記録再生装置間におけるデジタルデータを効率よく送受信することができるデータ送受信システム、データ送受信方法および記録再生装置を提供することを目的とする。

上記目的を達成するため、本発明に係るデータ送受信システムは、入力データの記録および再生を行う第1記録再生装置および第2記録再生装置を備え、前記第1記録再生装置と前記第2記録再生装置との間でデータを送受信するデータ送受信システムであって、前記第1記録再生装置は、デジタルデータ群と、前記デジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第1データベースファイルとを記憶するための第1記憶手段と、前記第2記録再生装置より送信された第2データベースフ

日本国特許庁 11. 8. 2004

ファイルと、前記第 1 データベースファイルとを比較し、前記第 1 記録再生装置には記録されているが前記第 2 記録再生装置には記録されていないデジタルデータに対応するデジタルデータに関する情報を前記第 1 データベースファイルから抽出する抽出手段と、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記第 1 記憶手段から削除するか否かを、前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する削除決定手段とを備え、前記第 2 記録再生装置は、デジタルデータ群と、前記デジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する前記第 2 データベースファイルとを記憶するための第 2 記憶手段と、前記第 2 データベースファイルを前記第 1 記録再生装置へ送信する送信手段とを備えることを特徴とする。

15 また、前記第 1 データベースファイルおよび前記第 2 データベースファイルに格納された各デジタルデータに関する情報には、当該デジタルデータが前記第 1 または第 2 記憶手段から削除されたことを示す削除情報を含み、前記抽出手段は、前記第 1 記録再生装置には記録されているが前記第 2 記録再生装置で削除されたデジタルデータに対応するデジタルデータに関する情報を、前記削除情報に基づいて抽出してもよい。

これによって、一方の記録再生装置でデジタルデータの削除が行われた場合に、他方の記録再生装置において、一方の記録再生装置で削除が行われたデジタルデータを特定することができ、例えばユーザの嗜好に合わせて削除するか否かを決定することができる。

25 また、前記第 1 データベースファイルおよび前記第 2 データベースファイルに格納された各デジタルデータに関する情報には、さらに優先度

日本国特許庁 11. 8. 2004

を示す情報を含み、前記削除決定手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを削除するか否かを、さらに当該デジタルデータの前記優先度に基づいて決定してもよい。

- 5 これによって、一方の記録再生装置でデジタルデータの削除が行われた場合に、他方の記録再生装置において、ユーザの嗜好に合わせて削除するか否かを決定することができる。

- 10 また、前記第1データベースファイルおよび前記第2データベースファイルに格納された各デジタルデータに関する情報には、さらに優先度を示す情報を含み、前記削除決定手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを削除するか否かを、当該デジタルデータの前記優先度に基づいて決定してもよい。

- 15 これによって、一方の記録再生装置でデジタルデータの削除が行われた場合に、他方の記録再生装置において、ユーザの嗜好に合わせて削除するか否かを決定することができる。

ここで、前記削除決定手段は、削除すると決定した前記デジタルデータを前記第1記憶手段から削除するとともに、削除した前記デジタルデータに対応する前記第1データベースファイル中の前記削除情報を更新してもよい。

- 20 これによって、デジタルデータだけを削除し、第1データベースファイルには削除したデジタルデータに対応するデジタルデータに関する情報は残したままで、デジタルデータを管理することができる。

- 25 また、前記第1記録再生装置は、さらに、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを、前記第2記録再生装置へ送信する送出手段を備えてもよい。

これによって、各デジタルデータの複製元および複製先を知ることができ、一方の記録再生装置で削除したデジタルデータを他方の記録再生装置から複製することで無駄に復元することを防ぐことができる。

5 また、前記送出手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記第 2 記録再生装置へ送信するか否かを、当該デジタルデータの
前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定してもよい。

これによって、よりユーザの嗜好に合ったデータの複製が可能となる。

10 また、前記第 1 データベースファイルおよび前記第 2 データベースファイルに格納された各デジタルデータに関する情報は、優先度を示す情報を含み、前記送出手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記第 2 記録再生装置へ送信するか否かを、さらに前記優
15 先度に基づいて決定してもよい。

これによって、一方の記録再生装置で削除したデジタルデータを他方の記録再生装置から複製することで無駄に復元することを防ぐことができる。

20 また、前記第 1 記録再生装置または第 2 記録再生装置は、車に搭載されてもよい。これにより、車内においても他方の記録再生装置に記録したデジタルデータを容易に利用することができる。

また、本発明に係る記録再生装置は、入力データの記録および再生を行うとともに、他装置との間でデータを送受信する記録再生装置であって、デジタルデータ群と、前記デジタルデータ群の各デジタルデータが
25 どこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する

る情報を格納する第1データベースファイルとを記憶するための記憶手段と、受信した前記他装置が記憶するデジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第2データベースファイルと、前記第1データベースファイルとを比較し、当該記録再生装置には記録されているが前記他装置には記録されていないデジタルデータに対応するデジタルデータに関する情報を前記第1データベースファイルから抽出する抽出手段と、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記記憶手段から削除するか否かを、前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する削除決定手段とを備えることを特徴とする。

これによって、他装置でデジタルデータの削除が行われた場合に、記録再生装置において、他装置で削除が行われたデジタルデータを特定することができ、例えばユーザの嗜好に合わせて削除するか否かを決定することができる。

また、本発明に係るデータ送受信システムは、入力データの記録および再生を行う第1記録再生装置および第2記録再生装置を備え、前記第1記録再生装置と前記第2記録再生装置との間でデータを送受信するデータ送受信システムであって、前記第1記録再生装置は、デジタルデー

再生装置 100 へ送信することを要求する送信要求を家庭用記録再生装置 200 へ送信する。

家庭用記録再生装置 200 は、車載用記録再生装置 100 より送信されたオーディオシンク機能実行指示を受信する（ステップ S 103）。そして、応答部 203 は、ACK（acknowledgement）と記憶部 201 に保存されているデータベースファイル 220 を車載用記録再生装置 100 へ通信部 202 を介して送信する（ステップ S 104）。

車載用記録再生装置 100 は、オーディオシンク機能実行指示に対する ACK とデータベースファイル 220 を家庭用記録再生装置 200 から受信する（ステップ S 105）。そして、抽出部 103 は、家庭用記録再生装置 200 から受信したデータベースファイル 220 と、記憶部 201 に保存されているデータベースファイル 120 とを比較する（ステップ S 106）。すなわち、抽出部 103 は、家庭用記録再生装置 200 に存在し、車載用記録再生装置 100 に存在しないオーディオデータがあるのか否か、ある場合はどのオーディオデータが車載用記録再生装置 100 に存在していないかの情報を抽出し、要求部 104 へ通知する。要求部 104 は、この情報に対応するオーディオデータ、すなわち車載用記録再生装置 100 に存在しないオーディオデータを送信することを要求する送信要求（比較結果）を、通信部 102 を介して家庭用記録再生装置 200 へ送信する（ステップ S 107）。この情報により家庭用記録再生装置 200 は、どのオーディオデータを車載用記録再生装置 100 に複製すればよいのかを知ることができる。例えば、図 2 に示す例では、データベースファイル 120 には、データベースファイル 220 に存在するタイトルが '555' の曲と '666' の曲と '777' の曲が含まれていない。よって、要求部 104 は、このタイトルが '555'、'666'、'777' である曲に関する情報を家庭用記録再生装置 20

0へ送信することになる。

家庭用記録再生装置200は、車載用記録再生装置100より送信された送信要求を受信する(ステップS108)。応答部203は、この送信要求に基づいて車載用記録再生装置100にどのオーディオデータを
5 送信すればよいかを判断し、対象となったオーディオデータを車載用記録再生装置100へ通信部202を介して送信する(ステップS109)。例えば、図2に示す例では、タイトルが‘555’、‘666’、‘777’である曲を特定するための情報が送信要求に付加されているので、応答部203は、このタイトルが‘555’、‘666’、‘777’である曲
10 のオーディオデータを車載用記録再生装置100へ送信することになる。

車載用記録再生装置100は、家庭用記録再生装置200から不足していたオーディオデータを受信する(ステップS110)。

以上のように、車載用記録再生装置100のデータベースファイル120と家庭用記録再生装置200のデータベースファイル220とを比較し、家庭用記録再生装置200に存在し、車載用記録再生装置100
15 に存在しないオーディオデータを複製することによって、2台の記録再生装置間におけるオーディオデータの送受信を簡単かつ効率よく行うことができる。

ここで、図3において破線で囲まれたステップS109、S110でのデータ送受信は、例えばホットスポットなどの高速通信が可能な状態で行われる。一方、ステップS109、S110以外のステップは、車載用記録再生装置100を搭載した車が家の車庫にあるときなどに、車載用記録再生装置100と家庭用記録再生装置200とが例えばIEEE
20 E (Institute of Electrical and Electronics Engineers) 802. 11a, 11b, 11gなどの無線LANで通信ができる状態で行われる。また、破線で囲まれたステップS109、S110でのデータ送受信は、
25

保持しておくことを決定（ステップS303）し、処理を終了する。逆に、優先度が低いと判断された場合（ステップS302でNO）には、その曲は、家庭用記録再生装置600で削除され、かつ、車載用記録再生装置700にとっても不要と判断されたことを意味する。このため、
5 削除決定部701は、その曲を削除し（ステップS305）、処理を終了する。

例えば、図10の場合、データベースファイル610で削除された曲‘444’と‘999’は、データベースファイル710において、ともに複製元が‘家庭用記録再生装置’と、曲‘4444’は複製先が‘家庭用記録再生装置’となっており、‘444’は優先度が‘×’のため削除され、‘4444’は優先度が‘△’、‘999’は優先度が‘○’のためそのまま保持するということになる。
10

このように、車載用記録再生装置700には存在するが家庭用記録再生装置600には存在しない曲については、データベースファイル710の項目で「複製元」、「複製先」および「優先度」を確認することでその曲を家庭用記録再生装置600へ複製するのか、あるいは車載用記録再生装置700自身の記憶部101から削除するのかを決定している。
15 このようにデータベースファイルの項目「複製元」、「複製先」および「優先度」を利用することで、家庭では普段聴かないが車ではよく聴くといった曲に対しても誤って削除されることない。また、家庭では必要とされていない曲を無駄に複製することのないオーディオシンク機能を実現するデータ送受信システムを構築することができる。

次に、図10に示す状態から車載用記録再生装置700にてオーディオデータの削除が行われた後に、オーディオシンク機能を実行した場合
25 の動作について、以下に説明する。ここでは、曲‘777’のオーディオデータ、すなわち、データベースファイル710におけるハッチング

請 求 の 範 囲

1. (補正後) 入力データの記録および再生を行う第1記録再生装置および第2記録再生装置を備え、前記第1記録再生装置と前記第2記録再生
5 装置との間でデータを送受信するデータ送受信システムであって、

前記第1記録再生装置は、

デジタルデータ群と、前記デジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する
10 情報を格納する第1データベースファイルとを記憶するための第1記憶手段と、

前記第2記録再生装置より送信された第2データベースファイルと、前記第1データベースファイルとを比較し、前記第1記録再生装置には記録されているが前記第2記録再生装置には記録されていないデジタル
15 データに対応するデジタルデータに関する情報を前記第1データベースファイルから抽出する抽出手段と、

前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記第1記憶手段から削除するか否かを、前記複製元の情報および前記複製先の情報
20 に基づいて決定する削除決定手段とを備え、

前記第2記録再生装置は、

デジタルデータ群と、前記デジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する
25 情報を格納する前記第2データベースファイルとを記憶するための第2記憶手段と、

前記第2データベースファイルを前記第1記録再生装置へ送信する送信手段とを備える

ことを特徴とするデータ送受信システム。

5 2. (削除)

3. (削除)

4. (補正後) 前記第1データベースファイルおよび前記第2データベースファイルに格納された各デジタルデータに関する情報には、さらに優先度を示す情報を含み、

10 前記削除決定手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを削除するか否かを、さらに当該デジタルデータの前記優先度に基づいて決定する

15 ことを特徴とする請求の範囲1記載のデータ送受信システム。

5. (削除)

20 6. (削除)

7. (削除)

8. (削除)

25

9. (補正後) 前記第1記録再生装置は、さらに、

前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを、前記第2記録再生装置へ送信する送出手段を備える

ことを特徴とする請求の範囲1記載のデータ送受信システム。

5

10. 前記送出手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記第2記録再生装置へ送信するか否かを、当該デジタルデータの前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する

10 ことを特徴とする請求の範囲9記載のデータ送受信システム。

11. (補正後) 前記第1データベースファイルおよび前記第2データベースファイルに格納された各デジタルデータに関する情報は、優先度を示す情報を含み、

15 前記送出手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記第2記録再生装置へ送信するか否かを、前記優先度に基づいて決定する

ことを特徴とする請求の範囲9に記載のデータ送受信システム。

20

12. 前記第1記録再生装置または前記第2記録再生装置は、車に搭載される

ことを特徴とする請求の範囲1に記載のデータ送受信システム。

25 13. (補正後) 入力データの記録および再生を行うとともに、他装置との間でデータを送受信する記録再生装置であって、

デジタルデータ群と、前記デジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第1データベースファイルとを記憶するための記憶手段と、

受信した前記他装置が記憶するデジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第2データベースファイルと、前記第1データベースファイルとを比較し、当該記録再生装置には記録されているが前記他装置には記録されていないデジタルデータに対応するデジタルデータに関する情報を前記第1データベースファイルから抽出する抽出手段と、

前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記記憶手段から削除するか否かを、前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する削除決定手段とを備える

ことを特徴とする記録再生装置。

14. (補正後) 他装置との間でデータを送受信するとともに、記録しているデータを管理するデータ送受信方法であって、

受信した前記他装置が記憶するデジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第2データベースファイルと、当該記録再生装置が記憶するデジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したか

を示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第 1
データベースファイルとを比較し、当該記録再生装置には記録されてい
るが前記他装置には記録されていないデジタルデータに対応するデジ
タルデータに関する情報を前記第 1 データベースファイルから抽出する抽
5 出ステップと、

前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出された
デジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを削除するか否
かを、前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する削
除決定ステップとを含む

10 ことを特徴とするデータ送受信方法。

15 (補正後) 他装置との間でデータを送受信するとともに、記録して
いるデータを管理するためのプログラムであって、

受信した前記他装置が記憶するデジタルデータ群の各デジタルデータ
15 がどこから複製されたかを示す複製元の情報、および前記各デジタルデ
ータをどこへ複製したかを示す複製先の情報を含むデジタルデータに関
する情報を格納する第 2 データベースファイルと、当該記録再生装置が
記憶するデジタルデータ群の各デジタルデータがどこから複製されたか
を示す複製元の情報、および前記各デジタルデータをどこへ複製したか
20 を示す複製先の情報を含むデジタルデータに関する情報を格納する第 1
データベースファイルとを比較し、当該記録再生装置には記録されてい
るが前記他装置には記録されていないデジタルデータに対応するデジ
タルデータに関する情報を前記第 1 データベースファイルから抽出する抽
出ステップと、

25 前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出された
デジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを削除するか否

かを、前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する削除決定ステップとを

コンピュータに実行させることを特徴とするプログラム。

5 16. (追加) 前記記録再生装置は、さらに、

前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを、前記他装置へ送信する送出手段を備え、

10 前記送出手段は、前記抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記他装置へ送信するか否かを、当該デジタルデータの前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定することを特徴とする請求の範囲13に記載の記録再生装置。

15 17. (追加) 前記データ送受信方法は、さらに、

前記抽出ステップにより抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記他装置へ送信するか否かを、当該デジタルデータの前記複製元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する送信送出ステップ
20 を含む

ことを特徴とする請求の範囲14に記載のデータ送受信方法。

18. (追加) 前記プログラムは、さらに、

25 前記抽出ステップにより抽出されたデジタルデータに関する情報、および前記抽出されたデジタルデータに関する情報に対応するデジタルデータを前記他装置へ送信するか否かを、当該デジタルデータの前記複製

元の情報および前記複製先の情報に基づいて決定する送信送出ステップ
を

コンピュータに実行させることを特徴とする請求の範囲 15 に記載の
プログラム。